



特集 生物多様性を身近に感じよう

川崎市 環境情報

検索

No.593



たかつ水と緑の探検隊の様子



多摩川教室の様子



水環境体験教室の様子

地球上にはさまざまな生き物が存在しています。40億年という長い年月の中で様々な環境に適応して進化してきました。多くの種類の生き物すべてが、複雑に関わり合って存在していることを生物多様性といいます。

わたしたち人間も自然の中で生きている生き物の一つで、わたしたちの生活は生き物がつくる自然の恵みに支えられて生きています。

市内でも、身の回りの自然に目を向ければたくさんの生き物を見つけることができます。生物多様性を身近に感じるために、自然とふれあってみませんか？



生物多様性を身近に感じよう

人間の暮らしに必要な生物多様性の損失は今も継続していると言われています。日本の生物多様性は4つの危機にさらされています。

生物多様性の危機

第1の危機

開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少

第2の危機

里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下



第3の危機

外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱

第4の危機

地球環境の変化による危機

生物多様性のためにできること

一人ひとりが生物多様性との関わりを日常の暮らしの中でとらえ、実感し、身近なところから行動することが、生物多様性を守るための第一歩です。

次の5つの中からできることを選んで、まずは行動してみましょう！



食べよう！	地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。
ふれよう！	自然の中へ出かけ、動物園・植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。
伝えよう！	自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。
守ろう！	生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。
選ぼう！	エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。

生き物情報を募集します！

市では、身近な生き物の情報を募集し、地図情報としてわかりやすく発信する「かわさき生き物マップ」を運用しています。

市域の生き物情報の募集を通じ、身の回りの自然に目を向けるきっかけづくりとして、また、市域の生き物情報の収集と蓄積をはかることを目的としています。

みなさんの身の回りの生き物の情報をお待ちしています！



かわさき生き物マップはコチラから ➡



問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-3720 FAX 200-3921



募集

みんなで里山を美しく守ろう！ ササ刈り・クラフト体験イベント参加者募集！

里山は昔から、人々の暮らしの中で適切に管理され、美しい「里山の景観」を保ってきました。ササ刈りは、誰でも気軽に参加でき、短時間でも成果が出る活動です。当日は、刈ったササを使っておもちゃを制作するクラフト体験も行いますので、ふるってご参加ください。（参加無料、要予約。荒天中止）

- 開催日時：令和4年2月5日（土）9時～11時45分
- 開催場所：黒川よこみね特別緑地保全地区
- 集 合：小田急多摩線はるひ野駅南口
- 申込方法：メール、FAX、ホームページでお申し込みください。
詳しくは、ホームページをご参照ください。
- 申込期間：令和4年1月1日（土）～1月28日（金）（先着30名）



問い合わせ：建設緑政局みどりの協働推進課 TEL 200-2365 FAX 200-3973

お知らせ



動物たちへの年賀状コンクール

お気に入りの動物あてにお送りいただいた年賀状を展示いたします。職員投票により選出された受賞作品【優秀賞（3名）】の発表も併せて掲示します。

●展示期間●●●

令和4年1月22日（土）～1月30日（日）

●展示場所●●●

夢見ヶ崎動物公園事務所受付前スペース



ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/30-26-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

問い合わせ：建設緑政局夢見ヶ崎動物公園 TEL 588-4030 FAX 588-4043

募集



「多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎」多摩川ワークショップ参加者募集

天気のコトを知ることができる工作体験や多摩川の生物カードゲーム体験、エコクラフト体験等ワークショップへの参加者を募集します。

当選者へは体験キットを郵送いたしますので、ご自宅で多摩川の魅力を体感してください。

※今年度のシンポジウムは、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場開催は中止といたしました。

定員 合計60名（コース選択制）

参加費 無料

対象 4歳児～小学生

応募期間 令和4年1月14日（金）～1月28日（金）

応募者多数の場合は抽選となります。

詳しくは、ホームページをご確認ください。



多摩川ワークショップ参加者募集

検索

問い合わせ：建設緑政局多摩川施策推進課 TEL 200-2268 FAX 200-3973

お知らせ



令和2年度地盤沈下調査結果

公害としての地盤沈下は、地下水を過剰に揚水することにより、地下水位が低下し、地層が収縮することによって生じる現象です。一般に、一旦沈下が起こると元に戻すことは不可能であるため、定期的な調査・監視による早期発見と未然防止が重要となります。

●精密水準測量

令和2年度は、市内291箇所の水準点において標高を測定しました。前年と比較して207箇所の水準点で沈下が見られ、最大沈下は高津区向ヶ丘の水準点で1.29cmでした。

●地下水位

市内に11箇所の観測用井戸を設け、地下水位等の常時監視を行っています。地下水位の変動は近年安定しており、令和2年は全観測用井戸で大きな変動は見られませんでした。

精密水準測量結果の経年推移

項目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
調査水準点数	389	397	383	374	291
有効水準点数 ※	321	322	316	309	237
沈下水準点数計	182	248	305	6	207
2cm未満	182	248	304	6	207
2cm以上4cm未満	0	0	1	0	0
4cm以上	0	0	0	0	0
年間最大沈下量	1.00cm	0.76cm	2.22cm	0.32cm	1.29cm

※有効水準点：前年度と対比が可能な水準点

●地下水揚水量

市条例に基づいて、揚水施設の設置事業者から揚水量の報告を受けています。

令和2年の総揚水量は約39,878m³/日、前年（40,375m³/日）より約1.23%減少しました。

問い合わせ：環境局環境保全課 TEL 200-2522 FAX 200-3922

月一
データ

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(2021年11月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場において、敷地境界の空間放射線量（ガンマ線）及び内水の放射能濃度（放射性セシウム濃度）について測定を行っています。11月の測定結果は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	測定値	測定日	基準等	測定頻度
空間放射線量 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)	0.03 ~ 0.06 $\mu\text{Sv/h}$	11月2日~11月30日	国の基準値 0.23 本市の目安値 0.19	週1回
埋立処分場内水 (単位: Bq/L)	2.9 Bq/L (検出下限値: 1.0)	11月10日	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	月1回

●詳しくはホームページをご覧ください。



問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923

月一
データ

大気環境 (2021年11月)

- 二酸化窒素 (NO₂)：一般局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。自排局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。
- 浮遊粒子状物質 (SPM)：一般局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。自排局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。
- 光化学オキシダント (O₃)：市内に光化学スモッグ注意報は発令されませんでした。
- 微小粒子状物質 (PM_{2.5})：一般局は全局で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。自排局は全局で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。

		二酸化窒素(NO ₂)			浮遊粒子状物質(SPM)			微小粒子状物質(PM _{2.5})			
		月平均値 (ppm)	日平均値が 0.04ppmを 超過した 日数(日)	日平均値が 0.06ppmを 超過した 日数(日)	日平均値が 0.06ppm 以下の日数 割合(%)	月平均値 (mg/m^3)	環境基準を 超過した 日数(日)	環境基準に 適合した 日数の割合 (%)	月平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した 日数(日)	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の日数 割合(%)
一般環境 大気測定局	大田川	0.019	0	0	100	0.011	0	100	7.8	0	100
	師島	----	----	----	----	0.013	0	100	11.0	0	100
	幸崎	0.021	0	0	100	0.011	0	100	9.9	0	100
	中原	0.018	0	0	100	0.011	0	100	7.7	0	100
	高津	0.018	0	0	100	0.010	0	100	8.3	0	100
	宮前	0.018	0	0	100	0.012	0	100	9.2	0	100
	多摩	0.017	0	0	100	0.011	0	100	7.3	0	100
	麻生	0.017	0	0	100	0.009	0	100	----	----	----
	平均	0.013	0	0	100	0.010	0	100	7.1	0	100
自動車 排出ガス測定局	池上	0.018	—	—	100	0.011	—	100	8.5	—	100
	日進町	0.034	7	0	100	0.014	0	100	9.5	0	100
	富士見公園	0.021	0	0	100	0.010	0	100	8.5	0	100
	遠藤町	0.023	1	0	100	0.013	0	100	9.6	0	100
	中原平和公園	0.027	2	0	100	0.010	0	100	----	----	----
	二子	0.020	0	0	100	0.011	0	100	8.0	0	100
	宮前平駅前	0.029	1	0	100	0.011	0	100	9.1	0	100
	本村橋	0.021	0	0	100	0.013	0	100	8.0	0	100
	柿生	0.019	0	0	100	0.011	0	100	7.4	0	100
	平均	0.019	0	0	100	0.010	0	100	10.1	0	100
平均	0.024	—	—	100	0.011	—	100	8.8	—	100	

- 注1：本データは最終確定値ではありませんので、後日修正することがあります。
 注2：本表中のSPMにおける環境基準評価は、当月の測定結果について短期的評価を行ったものです。
 注3：田島局のNO₂は、測定機故障のため、当月の測定データはありません。

- 環境基準**
- 1 二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
 - 2 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10 mg/m^3 以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m^3 以下
 - 3 微小粒子状物質：1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

●詳しい測定データは、市のホームページまたは下記までお問い合わせください。

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-10-2-1-0-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境総合研究所地域環境・公害監視担当 TEL 276-9096 FAX 288-3156

公害病被認定患者数1,162人
 (認定者総数6,055人—認定失効者数4,893人)
 認定失効者数4,893人
 (治癒等2,102人+死亡者数2,791人)
 令和3年11月末現在(健康福祉局)

発行編集
 川崎市環境局総務部企画課
 電話 044 (200) 2386 (直通)
 E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

